

2025 年 2 月 定例市長記者会見

日時：2025(令和 7)年 2 月 12 日(水) 午前 11 時
場所：郡山市役所本庁舎 2 階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 項 目

3 質 問

※質問は、「項目」、「フリー」に分けて行います。

※幹事社
・毎日新聞 ・NHK

4 閉 会

【項目一覧】

- (1) 令和 7 年度当初予算の概要 別冊
- (2) 地理情報システム (GIS) に新機能を搭載して業務を効率化 資料 2
- (3) 第 6 回「こおりやま SDG s アワード」 資料 3
～受賞団体が決定しました～
- (4) 市役所内の業務カイゼン啓発活動 資料 4

第6回「こおりやまSDGsアワード」 ～受賞団体が決定しました！～



2025年2月 定例市長記者会見
資料3-1 政策開発部政策開発課

こおりやま広域圏内において、SDGsの達成に向けた優れた取組みを行う個人・団体を表彰する「こおりやまSDGsアワード」の受賞団体が決定しました。

募集概要と応募実績

1. 募集期間

2024年9月1日（日）
～10月31日（木）

2. 募集部門（応募実績：総数12件）

（1）一般部門

こおりやま広域圏内に在住、在学・在勤の個人、こおりやま広域圏内に拠点を有する団体・事業者等（応募：9件）

（2）教育部門

こおりやま広域圏内の教育機関（応募：3件）

3. 選定方法

有識者6名で組織する「郡山市持続可能な地域づくり活動推進表彰に係る懇談会」委員から意見を聴取し、受賞団体を決定した。



表彰式

（写真）
昨年度の表彰式

1. 日 時 2025年2月17日（月）

15:30～16:30

2. 場 所 郡山市役所本庁舎 特別会議室

3. 内 容 賞状授与、受賞団体事例発表、講評など

※市公式YouTubeチャンネルにてオンライン配信予定→



受賞団体

（写真）教育部門受賞
郡山第三中学校
ごみ減量「残滓ゼロの日」活動



1. 一般部門 3団体

- ・株式会社プレイノベーション
- ・みやぎ生活協同組合 郡山セットセンター・郡山センター
- ・株式会社こんの 郡山営業所

2. 教育部門 3団体

- ・郡山市立郡山第三中学校
- ・郡山女子大学 家政学部 食物栄養学科
- ・学校法人成田学園 希望ヶ丘こども園

3. 地域貢献特別賞（上記公募以外の特別表彰）2団体

- ・リコージャパン株式会社 福島支社
- ・フェイス・ワン株式会社

受賞団体の紹介については、次ページ

第6回「こおりやまSDGsアワード」 ～受賞団体紹介～



2025年2月 定例市長記者会見
資料3-2 政策開発部政策開発課

一般部門

株式会社プレイノベーション

【関連するゴール】



【取組内容】

- 企業と個人の探究プラットフォーム「Fukushima & Company」、学生向け探究インターンシップ等の教育プログラム提供
- 探究教材「探究ワークシート」や歴史教材「郡山歴史カルタ」、食育教材「食育モンスター」等の教材制作
- 上記を通じた若年層への教育機会提供



▲探究インターン実施の様子



▲カードゲーム型食育教材「食育モンスター」

みやぎ生活協同組合 郡山セットセンター・郡山センター

【関連するゴール】



【取組内容】

- 宅配事業・夕食宅配事業を通じた高齢者の見守り
- 読み終えたチラシの回収、再資源化、計画購入により外出頻度を抑え、車などの使用を削減、配達の効率化によるエネルギーの削減・CO₂排出量の削減
- 育児グッズの配布やフードドライブの実施、多様な人材が活躍できる場の提供



▲直接お会いして、会話をしながら商品や夕食のお弁当をお届け



▲読み終えたチラシは、翌週に注文用紙と一緒に回収

株式会社こんの 郡山営業所

【関連するゴール】



【取組内容】

- 古紙を再利用しコピー用紙やトイレトペーパーに変え、再度グループ企業にて販売、リサイクルループの構築
- 各種SDGs関連イベントへの参画と「OPENヤード」「事業所見学」の開催を通じた啓発活動を実施
- 障がい者の就業体験の継続的実施と積極的な直接雇用（雇用率10.45%）（2021年厚生労働省もにす認定事業者）



▲ 毎年実施しているOPENヤードで身近なリサイクルを啓発



▲ 資源物の分別作業において障がい者の方々が活躍

第6回「こおりやまSDGsアワード」 ～受賞団体紹介～



2025年2月 定例市長記者会見
資料3-3 政策開発部政策開発課

教育部門

郡山市立郡山第三中学校

【関連するゴール】



【取組内容】

- 生徒や保護者、教職員等の議論を通じた制服のジェンダーフリー化
- 模擬選挙の実施による主権者意識の醸成
- 地域のハザードマップやシンキングツールの活用による防災教育
- 郡山市のごみ排出量について学び、ごみ減量への取組みを実施



▲制服のジェンダーフリー化



▲服の仕分け



▲ごみ減量
「残滓ゼロの日」

郡山女子大学 家政学部 食物栄養学科

【関連するゴール】



【取組内容】

- 鏡石町と連携し、食育を通じて健康面の支援を幅広い年齢層を対象に実施
- 小・中学校の食育に関するワークショップを実施
- 健康をテーマとしたイベントやコンテスト等を学校や団体、企業等と協働で実施



学校法人成田学園 希望ヶ丘こども園

【関連するゴール】



【取組内容】

- スマートクロックの導入による「節電の見える化」を実施し、電気使用量の大幅削減を達成
- サメ肉やこめ油、ソイミート等を使用した「みらいの給食週間」を実施
- 「森の案内人」を招き、森林保全に対する意識を醸成



◀スマートクロックで
見える化



▲ピーチシャーク・ソイミート
「おいしいね！」

第6回「こおりやまSDGsアワード」 ～受賞団体紹介～



2025年2月 定例市長記者会見
資料3-4 政策開発部政策開発課

地域貢献特別賞

リコージャパン株式会社 福島支社

フェイス・ワン株式会社

【関連するゴール】



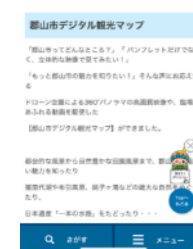
▲掲載サイトはこちら

【取組内容】

- 2社が郡山市と連携し、ドローンによる空撮パノラマ画像等を活用した郡山市内の観光デジタルマップを制作し、提供
- デジタルマップを通じ、地域の魅力再発見や子どもたちの郷土愛を醸成
- 観光情報の発信だけでなく、企業誘致セミナーや移住定住相談会など様々な機会を通じて映像を活用し、郡山市の魅力をPRすることが可能に



▲安積疏水の関連施設等も撮影



▲市ウェブサイトで公開しているほかLINEやFacebookでも広く周知

市役所内の業務カイゼン啓発活動

1 こおりやま☆カイゼン運動

郡山市では、職員が自発的なカイゼンに取り組む組織風土を醸成するため、平成26年度より「こおりやま☆カイゼン運動」に取り組んでいます。またカイゼン事例を速やかに全庁へ共有し、積極的に横展開を図っています。

【令和6年度重点テーマ】

「5レスでDX推進」

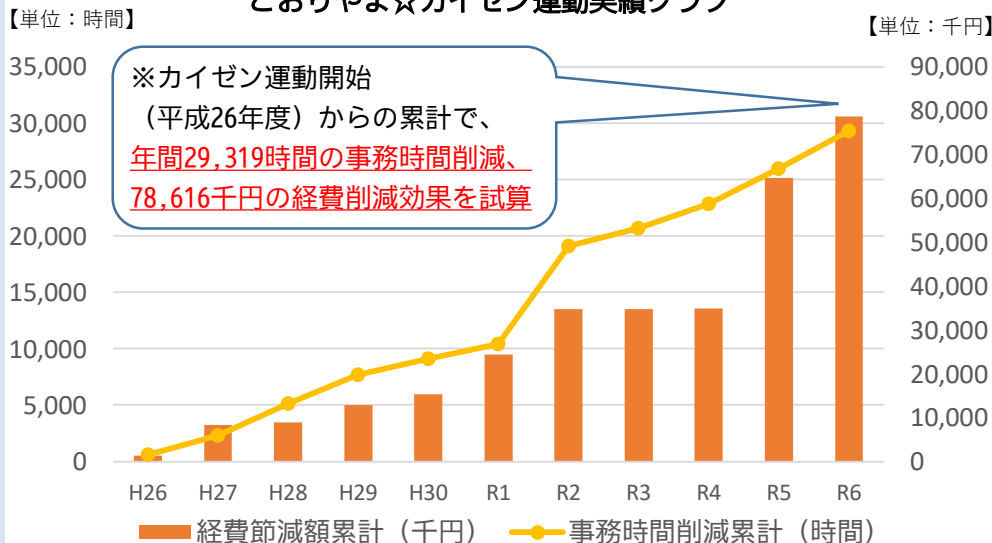
【令和6年度カイゼン事例報告数】

総事例数	5レス					タイパ	コスパ	スペパ
	カウンター	キャッシュ	ペーパー	ファイル	ムーブ			
36	8	1	17	7	5	13	5	5

○タイパ（事務時間削減数） 3,386時間（うちデジタルツール使用 3,019時間）
○コスパ（削減金額） 14,051千円（うちデジタルツール使用 12,318千円）
※デジタルツール使用カイゼン事例数 18件

2 これまでの実績

こおりやま☆カイゼン運動実績グラフ



3 令和6年度カイゼン優秀事例について

【優秀事例1：資産税課】 今年度のオーディエンス賞

「オンラインでできない手続きはありません！」
固定資産税の手続きオンライン化率100%達成



カイゼン概要

資産税課における手続きオンライン化率100%達成！

【優秀事例2：国民健康保険課】

「上から順に入力してね～書類もデータも自動生成～」



カイゼン概要

エクセルを利用した窓口対応で、業務効率及び業務の正確性を向上！

【優秀事例3：スポーツ振興課】

「運転日誌のデジタル化」



カイゼン概要

車両の運転日誌をキントーンアプリで管理することで、業務効率向上！

【優秀事例4：市民課】

「窓口に来なくても済む市役所！～コンビニ交付操作説明動画作成～」



カイゼン概要

証明書のコンビニ交付操作説明動画を作成し、市民に周知・利用促進！

4 全国都市改善改革実践事例発表会について

全国都市改善改革実践事例発表会は、全国の自治体が実施した業務改善の優秀事例を一堂に集め、全国規模で改善情報を共有する場です。

今年度は全国から14自治体に参加しました。

開催日時 令和7年2月7日 午後1時30分～

開催場所 埼玉県所沢市 市民文化センターミューズ

当市発表事例 上記【優秀事例1：資産税課】（今年度のオーディエンス賞）

結果 『おてがる手続きのオンライン化を進めたで賞』を受賞！



オンラインでできない手続きはありません！ 固定資産税の手続きオンライン化率 **100%** 達成

＜＜税務部 資産税課＞＞

資産税課オンライン申請プロジェクトチーム

Before

手続きがしたい



窓口に行く

郵送する

オンライン申請

・遠方に住む納税義務者もいるため、オンライン申請のニーズは高いのに個人番号の提供を受ける手続きはオンライン化未対応だった…

“いつでも”
“どこでも”

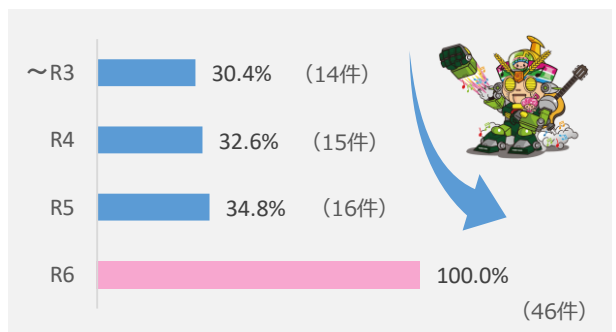
30件は未対応…

カイゼン内容

・国の提供する「ぴったりサービス」を活用して、個人番号の提供を受ける手続きもオンライン化を実現！

・事務担当者向けのマニュアル作成等により、係横断で30件の手続きを速やかにオンライン化！

・これにより、資産税課の手続きオンライン化率が **100%** に！



資産税課のオンライン申請手続き数の推移

**納税義務者の
タイパ・コスパをカイゼン！**

ペーパーレス

カウンターレス

**タイパ 約1,800時間削減
コスパ 約20万円削減**

After

手続きがしたい



窓口に行く

郵送する

オンライン申請

・マイナンバーカードを持つ個人の方は、24時間・365日、すべての手続きがオンラインで可能に！

“いつでも”
“どこでも”
“なんでも”

46件

100% 対応

職員投票での投票者からのコメント（抜粋）

☞オンライン化100%はすごい。このままでいいやと思わない担当者の努力を見習いたい。

☞各種申請のオンライン化は手のひら行政の基本ですね。ご苦労様でした。

発表者からの一言

課長のリーダーシップのもと、課内一丸となって取り組んだ カイゼンです。

上から順に入力してね ～書類もデータも自動生成～

＜市民部 国民健康保険課 国民年金係＞

Win-Win

チーム名 チーム年金

Before

業務の全てが手作業、マニュアルを見て判断していたので間違いも・・・

【お客様】

【行政センター】

【国民年金係】



聞き取り

確認・判断

作成・交付

システム入力

紙台帳記入

月次集計

カイゼン内容

- ✓ 条件分岐を使ったExcelツールを作成
運用は個人番号系（住民票等を取り扱う画面）で行うため、ローコードのツールは使えません。今あるもので対応するにはExcelで地道に作る必要がありました。
- ✓ 事実を入力するだけで自動的にサービス内容を表記
入力項目は少なく、事実のみを入力し、判断を伴うものを排除。操作はボタンを配置し、ワンクリックで実行できるよう設計しました。
- ✓ 作成したツールを係内で共有し支所には成果品をお届け
個人で利用していたツールを係内で公開。成果品が電子発行されるようになったため、支所にはフォルダ間移動で成果品を即時お渡しする事が可能に。

人為的な判断を無くし条件分岐で自動判断

品質向上

本庁・支所の成果品の品質を統一

ミスゼロを達成

時間短縮

手作業から自動生成
電話伝達からファイル転送
内容確認に要していた時間の削減
受付 1件12分短縮 年間約3,000件
月次集計 1月300分短縮

年間660時間

コスト削減

紙の台帳廃止
支所に事前配置していた用紙類を廃止
様式変更も柔軟な対応が可能に

2,500枚削減

① 上から順番に聞き取り項目を入力し

【お問い合わせ】 おくやみ窓口のみ→	【99】	【お2】
おくやみ窓口予約日	8月17日	におくやみ窓口を利用しない 「なし」に記入
おくやみ窓口予約時間	18:10	
氏名番号	123456	

【お問い合わせセンター連絡用】	【お2】	【お3】
氏名番号	123456	「〇」から入力された方の氏名・生年月日をお入力します。」
氏名	山田 太郎	
生年月日	昭和19年10月10日	89歳
【配属者の方は「〇」欄を「なし」で入力してください】		
配属者	〇	
配属者氏名	山田 太郎	
配属者住所	〒123-4567	マイナンバー記載済み
請求者氏名	佐藤 花子	
請求者の住所	〒123-4567	
世帯の人数	3人	世帯主
【確認して取り消しにしてください。ご迷惑なお問い合わせをお断りいたします。】		
お問い合わせ番号	1234-5678	

【お2】国保・国民年金システム		
国保・国民年金番号	1234-123456	
国保コード	1234	
国民年金番号	5678-901234	
〒(1000年未満)	00000000	00000000

② ボタンをクリック



自動生成



After

事実を入力すれば、条件を判断して交付物やデータを自動で生成します。

【お客様】

【行政センター】

【国民年金係】



聞き取り

入力

Excel集計

印刷・交付

ファイル転送

職員投票での投票者からのコメント（抜粋）

👉特別なシステムやツールではなく、エクセルフォームで整備され、業務時間の削減と正確性の向上が図られており、費用対効果に優れている。

👉3方すべて良しの素晴らしい内容

発表者からの一言

関わる誰もが winwin になるよう運用全体を見直しました。ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。

「失敗は通過点」
成功するまで歩みを止めない

運転日誌のデジタル化

チーム名:おじさんたち

《文化スポーツ部 スポーツ振興課 施設マネジメント係》

公用車の運転毎に、行先、運転者、用務、車両の異状の有無を「運転日誌」として記録している。この事務の効率化を図るとともに、デジタルデータの利活用を実現する。(ペーパーレス、ファイルレス)

Before



Input フェーズ

① 運転の度に、紙様式に記載

紙 じゃま、わずらわしい
記載 面倒くさい、時間がかかる。

② 押印・決裁

紙 じゃま、わずらわしい
押印 今時、ハンコって。。

Output フェーズ

③ 紙ファイルに保存

スペースのムダ使い

何の活用もできていない

カイゼンを要する直接的な課題

カイゼンによりねらう「+α」(副産物)

カイゼンで意識したポイント

- 1 おじさんだってカイゼンができる。
- 2 現場レベルからのカイゼン提案。
- 3 効果があること。
- 4 シンプルであること。
- 5 マネができるカイゼンであること。

- 誰だってカイゼンの主役になれる。
- わかっている人が現状の課題をカイゼンしていく。
- 直接的な課題解決+αをねらう。
- 特別なスキルを要しない。
- 有意義だと思われる(うらやましがられる)カイゼン

カイゼン内容

直接的な課題の解決 (Inputフェーズ)

①ローコードツール「Kintone」によるアプリ作成・活用
(ペーパーレス)



紙様式に記載
(アナログ)



スマホで入力
(デジタル化)

「+α」の副産物 (Outputフェーズ)

②入力データ(デジタル)の利活用
(ファイルレス)



特段の活用なし

検索性UP
データ分析

After



Input フェーズ

① スマホで必要事項を入力

② データを確認

Output フェーズ

③ データ利活用

タイパ 運転日誌作成に要する業務 年間44時間削減
コスパ 年間約175,000円削減(人件費相当)

職員投票での投票者からのコメント (抜粋)

- ☞端末を持っていない職員でも入力できるよう、スマートフォンの画面で申請できるようにされているのが素晴らしい。
- ☞ローコードツールを活用していて、しかも横展開できる取り組みだと思います

発表者からの一言

「おじさんたち」もがんばってカイゼンしてみました。是非、マネしてみてください。

窓口に来なくても済む市役所！

～コンビニ交付操作説明動画作成～



Before

＜市民部 市民課＞

「なぜ窓口を利用するのか」研究グループ/デジタルリーダー

証明書のコンビニ交付が出来るようになったのに、窓口はまだ混雑・・・

まだなの？ 早くして！
駐車場はいつも満車！
書類書くのも面倒！



お客様



職員

令和5年度市民課証明発行窓口受付
繁忙期最大待ち時間 1時間45分

令和5年度市民課証明発行窓口
繁忙期最大申請人数 296人/日

カイゼン内容

1. 実態把握 「窓口で足を運ぶ理由を探るためのアンケート調査実施」

証明書交付申請のために市民課窓口に来た方を対象に

「証明書コンビニ交付の認知度調査」をした結果、窓口を利用する理由は

1位 対面の安心感 2位 市役所が近かった 3位 **機械操作の不安**

2. 課題解決 「簡単で待ち時間なく取得できる」イメージを持ってもらえる仕組み作り

不安解消に向け、実際の操作画面を映したコンビニ交付操作説明動画を作成

使ってみたいけど、
一歩踏み出せない方へ
★申請方法の選択肢を増やすために

市ウェブサイト・YouTubeで動画公開

広報こおりやまで紹介

窓口に来て申請中の方へ
★次はコンビニを利用してもらうために

市民課フロア内テレビで動画放映

QRコード付き操作案内を配布



After

タイパ向上・ペーパーレス

意外と簡単！
コンビニに行ってみようかな！



お客様

待ち時間・移動時間の削減
土日も取得可能
手書き不要



職員

お客様を待たせずに済む！
焦らず1人1人に向きあえる！

事務時間の削減
紙の申請書使用量減

職員投票での投票者からのコメント（抜粋）

（予）私自身、対面の安心感からコンビニ等で各種証明書を取得することは考えていませんでした。動画配信という形でコンビニ等での取得に対する心理的ハードルを下げることは非常に有効であり、大変良いカイゼンであると考えます。

（予）利用者に対しアンケート調査を実施し、それにより課題を把握し、その課題に対してカイゼンを図っている点が良い。

発表者からの一言

市職員なら
当然コンビニ交付！
窓口には来ないで！！